

四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？



例会場：厚木アーバンホテル

例会日：毎週金曜日 12：30～13：30

事務局：厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所2階

厚木県央ロータリークラブ令報

<http://www.ken-ou-rotary.gr.jp/> e-mail : info@ken-ou-rotary.gr.jp TEL : 046-222-5811 Fax : 046-222-5821



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度R I テーマ 「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

2021-22年度厚木県央RC テーマ 「厄災禍におけるクラブ活性化を考えよう」

会長 和田貴樹 副会長 北村正敏 幹事 松本 豊

第1063回例会(2021年10月1日)

■点鐘 …和田貴樹会長

■斉唱 …君が代・奉仕の理想

■ゲスト紹介



地区補助金配分VTT委員長 富田桂司様(茅ヶ崎RC)



シュレスタ・アユム君(米山奨学生)

■会長報告

◎ガバナー事務所 より

- ・第1回地区補助金説明会
10月16日(土)14：00～16：00 第一相澤ビル
- ・月信11月号 原稿依頼について
- ・2021年地区研修協議会収録DVD

- ・クラブフューチャービジョンセミナー開催のご案内
12月4日(土)13：00～17：30

相模原市産業文化会館

- ・ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭並びに募金活動
のご案内

米山奨学生 祈願祭へのお誘い

- ・ガバナーより公式訪問のお礼状

◎社会福祉法人 神奈川県共同募金会 より

- ・”赤い羽根”共同募金へのご協力をお願い

■スマイル

和田貴樹会長・松本 豊幹事

本日は地区補助金VTT 富田桂司委員長様、zoomで地区補助金について卓話をしていただきます。富田委員長、よろしくお願ひ致します。

奉仕プロジェクト委員会一同

地区補助金VTT 富田桂司委員長様、本日はお忙しい中お時間をいただきまして誠にありがとうございます。卓話楽しみにしております、どうぞよろしくお願ひ致します。

能勢健一君・伊藤 一君・守屋孝則君・森 志朗君

スマイルBOX

■会長タイム

本日から緊急事態宣言が解除になりました。今日の例会はズームですが、次回はハイブリッドで開催します。それ以降は会場のみ例会も検討します。委員会の開催も無理のない範囲でお願いします。

本日の例会は地区補助金に関する例会です。新川年度の取り組みです。しかし新川会員は今日手術予定です。

本日から31日までデジタルサイネージの放映が始まります。22日の例会でポリオ募金をを行います。各企業会社等で募金をしてきて下さい。



■例会「次年度地区補助金について」

担当：奉仕プロジェクト委員長 山口昌興君

地区補助金配分VTT委員長 富田桂司様による卓話。コロナ禍で新たな奉仕活動を検討しつつ、地区補助金を活かしていきたいと思います。

ロータリー財団と地区補助金活用

令和3年10月1日(金) 厚木県央ロータリークラブ例会
 例会場：オンライン例会
 2780地区ロータリー財団 補助金配分・VTT委員会
 委員長 富田桂司

ロータリー財団とは

第2780地区 2022-23年度
ロータリー財団委員会

- 1917年、当時の会長アーチ・クラフが「世界でよいことをする」ための基金をつくるというビジョンを発表し、26ドル50セントの寄付でスタートしました。
- ロータリー財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」です。
- ロータリーが、世界の人々の間に相互理解を推進し世界的影響力のある組織としてその義務を果たすためには複数のクラブが協力し、大規模で効果的な奉仕プログラムを実現する必要性を求められました。そのために、国際ロータリーの活動を補足する調整、援助機関としてロータリー財団が役割を担っています。

寄付金の運用 (シェアシステム)

2780地区のロータリアンからご寄付頂いた(杉岡ガバナー年度)の“年次基金”と“恒久基金”は、ロータリー財団で3年間運用後、シェアシステムにより“年次基金”と“恒久基金の運用益”が(田島透年度)地区財団活動資金として地区に配分されます。

```

  graph TD
    A[100  
3年前の年次寄付+恒久基金の運用益] -- 50% --> B[地区財団活動資金 (DCF)]
    A -- 50% --> C[国際財団活動資金 (WF)]
    B -- 25% --> D[地区補助金 (DG)]
    B -- 25% --> E[グローバル補助金 (GG)]
    C -- 20% --> F[グローバル補助金に  
国際支給]
  
```

※前年度の未使用DCFは、次年度のGGとして継続

補助金の種類と特徴

種類	地区補助金 (DG) District Grants	グローバル補助金 (GG) Global Grants
決定機関	地区財団委員会	ロータリー財団
対象	<ul style="list-style-type: none"> 実施年度の前年度3月31日までに申請。 実施年度の5月10日までに活動を完了し、5月15日までに完了報告書を提出 ロータリアンが積極的に参加する奉仕プロジェクト 継続事業に関しても3年に1回申請が可能 国内・国外を問わない 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じて随時申請が可能。 ロータリーの7つの重点分野へのプロジェクト 海外で実施するプロジェクト 実施国にてパートナーとなるロータリークラブと連携して実施するプロジェクトの条件が必須。 \$ 30,000以上の活動資金を投入する大規模なプロジェクト。
支給額及び支給方法	<ul style="list-style-type: none"> 一般応募 (申請額が50万円以下) プロジェクト費用の80%まで支給 特別応募 (申請額が200万円未満) プロジェクト費用の60%まで支給 ※共同プロジェクト、グループプロジェクト推奨 	プロジェクト費用の90%まで支給

2022-23年度補助金申請について

- クラブの参加資格**
地区補助金説明会に必ず出席
出席義務者は会長エレクト及び社会奉仕プロジェクト委員長・会長・幹事の内2名以上。
- 要件**
ロータリー財団の使命に関連したプログラムでロータリアンが積極的に参加するプロジェクト。
2022年5月10日までに完了する奉仕プログラム。
ロータリー財団「現と望望の条件」「地区補助金の対象となる活動」を遵守すること。(2017年4月更新)
- 日程**
申請手続き相談 随時 (2022/3/15まで) ※ガバナー事務局にお問い合わせください。
申請説明相談 補助金説明会終了後引き続き相談会実施
申請提出期限 2022年11月1日から2023年3月31日
- 対象内容**
第2780地区ロータリー財団委員会では、地区補助金の対象となる活動と対象にならない活動について、具体的な例を定めています。

地区補助金覚えておく留意点

- 国内・国外を問わない。
- 2022年7月上旬から2023年5月10日までに完了する奉仕プログラム。
- 一般応募 (申請額50万円以下) と特別応募 (申請額50~200万円未満) がある。
- 「ロータリー財団の使命に関連したプログラム」かつ「ロータリアンが積極的に参加するプロジェクト」であること。
- 継続事業でも3年に1回は申請可。但し新規申請が優先される。
- 補助金を受けることが目的ではなく、クラブの活性化のために有意義なプロジェクトの立案を目指してほしい。



■ソングリーダー



川名貴之君



■出席報告 <会員 39 名、出席対象 38 名>

9月17日例会	確定出席率 72.97%	10月1日例会	出席 30 名 欠席 8 名	出席率 78.95%

